

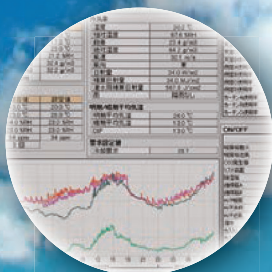
施設園芸・植物工場展

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

GPEC in 愛知

未来につなげるNIPPON農業

主催 一般社団法人 日本施設園芸協会 共催 アテックス株式会社



結果報告書

会期 2021年7月14日(水)～16日(金)

会場 Aichi Sky Expo ホールB



スマートアグリジャパン

主催 スマートアグリコンソーシアム

共催 一般社団法人 日本施設園芸協会
アテックス株式会社



■ 目次

はじめに

1. 開催概要	2
2. 展示内容と構成	3
主な展示内容	
GPEC2021出展分野割合	
3. 出展者一覧	4
4. 会場MAP	5
5. 出展者アンケート	7
6. 来場者分析	9
来場者数	
業種別比率	
地域別比率	
7. 来場者アンケート	11
8. イベント	13
GPEC開会式	
GPEC主催者コーナー	
GPEC主催者セミナー	
Smart Agri Japan特別セミナー	
Smart Agri Japan出展者プレゼンテーション	
最新ハウス見学ツアー	
9. 来場誘致・広報活動	18

はじめに



一般社団法人 日本施設園芸協会
会長 鈴木 秀典

「施設園芸・植物工場展2021 (GPEC)」は、7月14日から16日の3日間、Aichi Sky Expoにおいて開催され、成功裡に終了することができました。第6回目を迎えたGPECは「施設園芸」と「植物工場」に特化した国内唯一の専門展示会として、知名度も上がり業界へ着実に定着してまいりました。今回は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、2020年から1年延期しての開催となりましたが、企業・大学・研究組織・行政組織・各種団体など、129社・団体にご出展いただきました。来場者数は、コロナ禍、またGPECとしては初めての東京以外での開催となりましたが16,288名ものの方々をお迎えすることができました。

『未来につなげるNIPPON農業』をテーマとして、業界の最新情報を提供するとともに、生産者の収量増加・品質向上・経営改善など、課題解決につながる展示に注力してまいりました。主催者コーナーでは、当協会が推奨する大型モデルハウスを実際の仕様で設置し、テーマに沿った最新の栽培環境を再現しました。訪れた多くの方々に未来の日本農業を体感していただき、業界の発展を支える存在としてその役割を果たすことができたと思っております。

会場内の2カ所で実施された主催者セミナーも大変充実したプログラムが準備され、業界のトップランナー達による多くの講演が満席となるなど盛況でした。「出展者プレゼンテーション」も多くの来場者が聴講し、自社ブースでの説明と連携した効果的なアピールができたものと推察できました。

以上のように、展示会としての目標を達成でき、愛知での開催は大成功だったと自己評価しております。これもひとえに出展各社並びに農林水産省・経済産業省、愛知県等の関係省庁・県・団体、関係各位のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

ここに、今回の結果をご報告申し上げるとともに、来年のGPECに向け、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 開催概要

会 期 2021年7月14日(水)～16日(金)

会 場 Aichi Sky Expo ホールB

開場時間 10:00～17:00

入場方法 WEB来場登録または招待券持参(無料)

GPEC 施設園芸・植物工場展

開催概要

名 称 施設園芸・植物工場展2021(GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

会 期 2021年7月14日(水)～ 16日(金)

開場時間 10:00～17:00

会 場 Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) 展示ホールB (10,000㎡)

主 催 一般社団法人 日本施設園芸協会

後 援 農林水産省、経済産業省、愛知県、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同)

共 催 アテックス株式会社

協 賛 愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会、オランダ王国大使館、イスラエル大使館 経済部、駐日本国大韓民国大使館、千葉大学 園芸学部、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、(一社)園芸学会、JA包装園芸資材協会、植物工場普及振興会、スマートアグリコンソーシアム、(一社)全国農業改良普及支援協会、全国農業高等学校長協会、全国農業資材商業会、全国農業大学校協議会、(一社)全国肥料商連合会、全国野菜園芸技術研究会、NPO法人 地中熱利用促進協会、日本園芸農業協同組合連合会、(一社)日本花き卸売市場協会、(一社)日本花き生産協会、(一社)日本果樹種苗協会、(一財)日本GAP協会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本種苗協会、(一社)日本植物工場産業協会、日本生物環境工学会、(一社)日本土壌肥科学会、(一社)日本農業機械化協会、(一社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、(公社)日本農業法人協会、(一財)日本花普及センター、日本ばら切花協会、日本ビニル工業会、日本肥料アンモニウム協会、(一社)日本有機資源協会、日本養液栽培研究会、(一財)日本立地センター、(株)農協観光、農業施設学会、農業データ連携基盤協議会、(一社)農業電化協会、農業工業会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会 (順不同)

出展者数 国内外129社・団体(同時開催展・共同出展含む)

GPEC2021実行委員会

委員長 丸尾 達 (公社)園芸植物育種研究所 理事長

大出 祐造 (株)誠和。 代表取締役社長
安井 一郎 AGCグリーンテック(株) 会長
福田 晴久 ネボン(株) 代表取締役社長
川西 裕康 トヨタネ(株) 代表取締役社長
五十嵐武彦 サンキンB&G(株) 取締役 農芸事業部 事業部長
柿沼 秀明 渡辺パイプ(株) 執行役員 グリーン事業部長
金井 敏樹 カネコ種苗(株) 理事
久米 寛二 イノチオアグリ(株) 執行役員
篠原 温 千葉大学 名誉教授
渋谷 忠宏 全国野菜園芸技術研究会 会長
津川 修一 (株)大仙 常務取締役 営業事業部長
茂木 実時 東都興業(株) 相談役

渡辺 正徳 全国農業協同組合連合会 耕種資材部 資材課長
久保田光昭 アキレス(株) 農業資材販売部 部長
坪田 吉啓 (株)サカタのタネ ソリューション統括部 シニアアドバイザー
大賀 泰光 タキロンシーアイ(株) アグリ事業部 事業部長
古田 幹雄 フルタ電機(株) 最高顧問
相馬 厚司 ヤンマーアグリ(株) 経営企画部 東京企画室 専任部長
狩野 光博 三菱ケミカルアグリドリーム(株) 取締役社長
林 真紀夫 東海大学 名誉教授
有光 大幸 有光工業(株) 常務取締役
中村 謙治 エスベックミック(株) アグリ事業部 本部長
増澤 佳浩 クボタアグリサービス(株) 農業施設部 部長補佐
山本 義之 パナソニック(株) 渉外部 公共ソリューション事業担当課長
高山弘太郎 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所 教授
東出 忠桐 農研機構 野菜・花き研究部門 研究推進部長

(順不同・敬称略。氏名、役職は就任当時)

同時開催展

Smart Agri Japan スマートアグリ ジャパン

開催概要

名 称 スマートアグリ ジャパン 主 催 スマートアグリコンソーシアム 共 催 (一社)日本施設園芸協会/アテックス(株)



② 展示内容と構成

主な展示内容

GPEC 施設園芸・植物工場展

施設本体・資材



ハウス・太陽光利用型植物工場(栽培施設・資材)
ハウス本体、ハウス構成部材・部品、外張・内張フィルム(農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など)、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品



人工光型植物工場(栽培施設・資材)
植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品

付帯設備・機器



施設園芸用
カーテン装置、自然換気・強制換気装置(天窓、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇など)、局所加温装置、冷・暖房装置(自然エネルギー型等含む)、光合成促進装置(炭酸ガス発生装置など)、灌水・散水装置、防除・土壌消毒装置(動力噴霧機、無人防除機 など)、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹棚装置、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、補光装置(電照装置を含む)、収穫機器・運搬資材、ファインパブル発生装置、ハウス清掃用品、洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置



植物工場用(太陽光利用型・人工光型)
光環境装置(LED、蛍光/冷陰極/無電極ランプ など)、給排水処理プラント装置、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、収穫機器・運搬資材、その他 付帯設備・機器・装置

生産管理機器・資材



種苗・育苗資材、育苗システム
種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など



肥料・農薬、受粉・天敵昆虫、IPM
有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など



農業ICT
IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術 など



環境制御装置・技術
光量・温度・湿度・CO2・風量センサー、土壌成分計測システム、養液管理システム、その他各種センサー、タイマー、計測・制御システム、自動機器 など

特設ゾーン



流通・加工
計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など



リース・融資、経営サポート
リース業、金融機関、業務・経営管理ソフトウェア/アプリ、6次産業化プランナー、観光農園事業コンサルタント、その他農家向けサイドビジネス(自家発電・売電事業、アフィリエイト) など

その他



省力化・サポート機器
アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット(播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機) など



自治体・団体
自治体、海外大使館、次世代施設園芸拠点、その他の農業関連団体 など



災害・熱中症対策
熱中症対策、共済 など



メディア・書籍
新聞社、出版社、インターネットメディア など

Smart Agri Japan スマートアグリ ジャパン

システム

栽培管理/見える化・学習支援/生産量予測

機器

農業ロボット

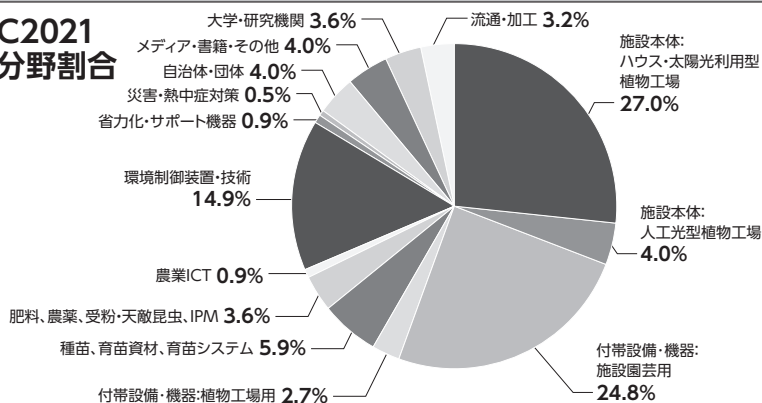
要素技術

各種センサー/IoTゲートウェイ

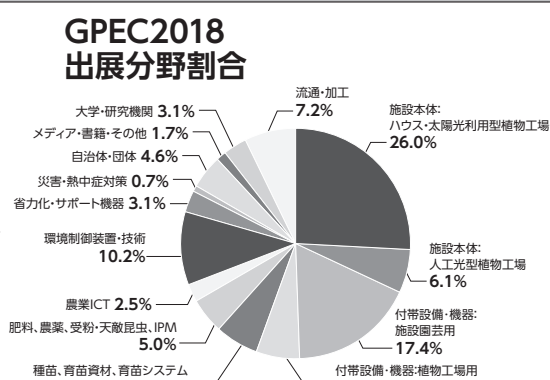
出展分野割合(小間数ベース)

※同時開催展含む

GPEC2021 出展分野割合



GPEC2018 出展分野割合



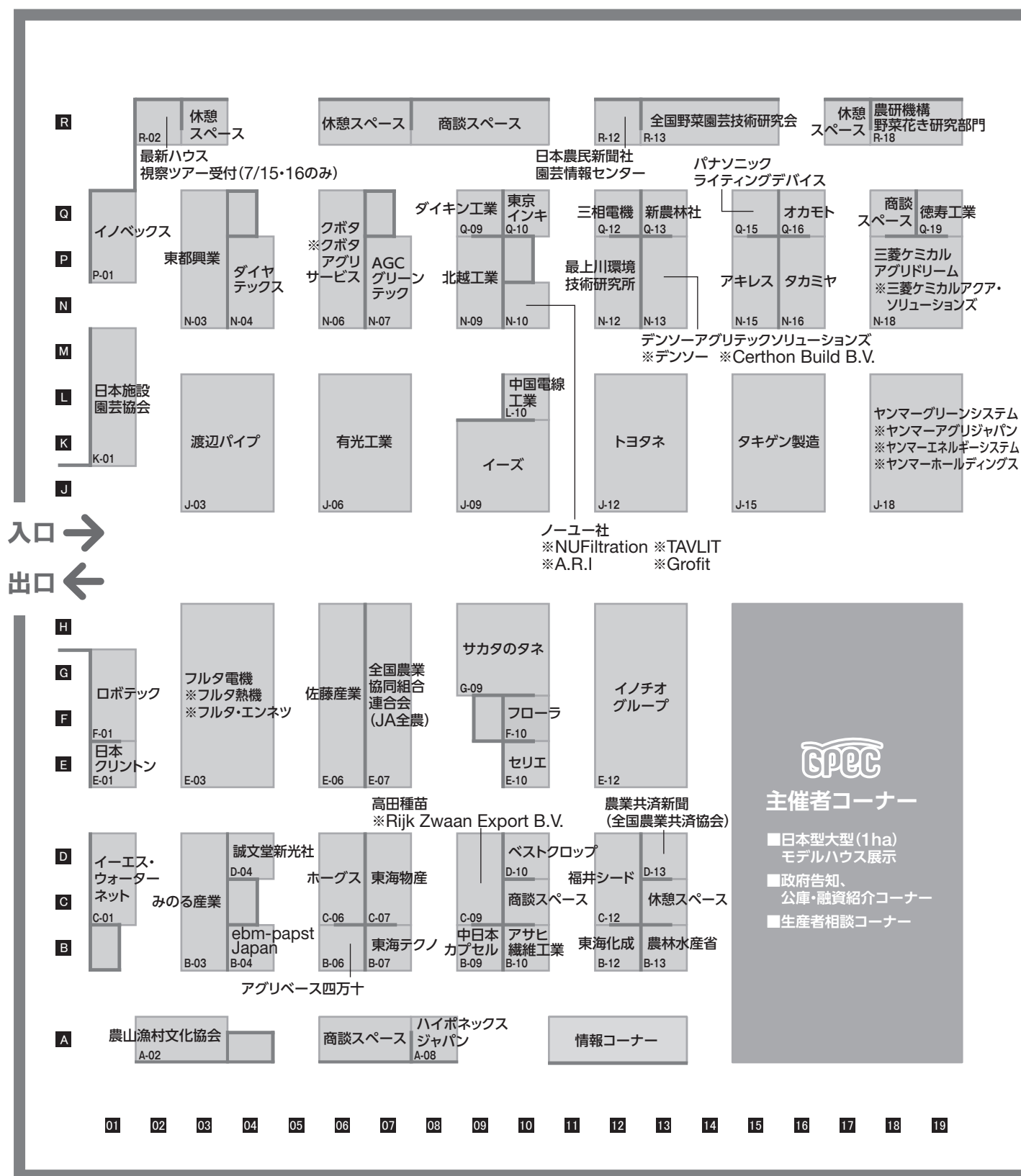
3 出展者一覧

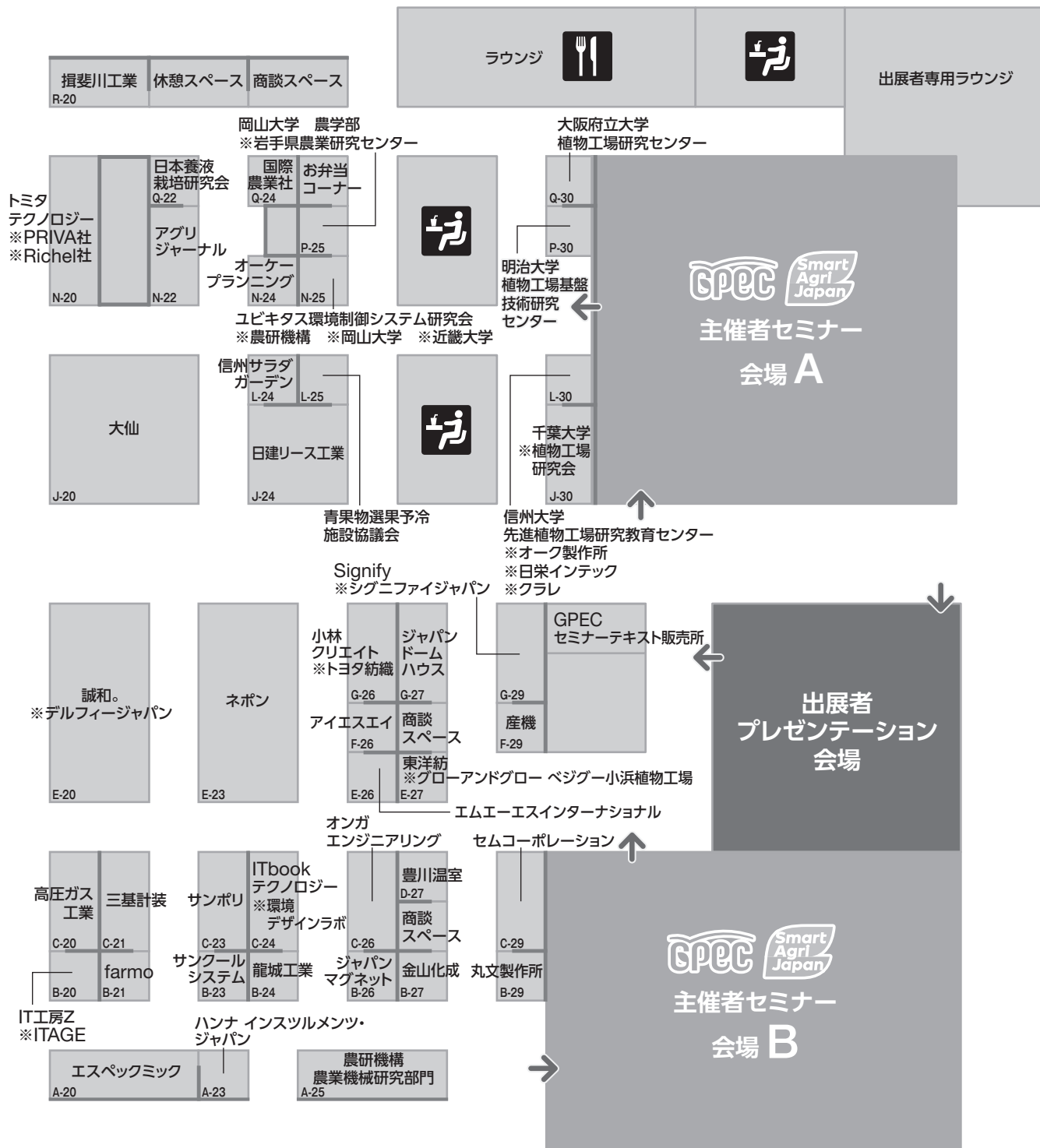
社名50音順、海外企業は末尾
※共同出展

あ	(株)アイエスエイ	F-26
	(株)IT工房Z	B-20
	※(株)ITAGE	
	ITbookテクノロジー(株)	C-24
	※(株)環境デザインラボ	
	アキレス(株)	N-15
	アグリジャーナル	N-22
	(株)アグリベース四万十	B-06
	アサヒ繊維工業(株)	B-10
	有光工業(株)	J-06
	(株)イーエス・ウォーターネット	C-01
	(株)イーズ	J-09
	ebm-papst Japan(株)	B-04
	イノチオグループ	E-12
	(株)イノベックス	P-01
	損斐川工業(株)	R-20
	AGCグリーンテック(株)	N-07
	エスベックミック(株)	A-20
	エムイーエスインターナショナル(株)	E-26
	(株)オーケープランニング	N-24
	大阪府立大学 植物工場研究センター	Q-30
	オカモト(株)	Q-16
	岡山大学 農学部	P-25
	※岩手県農業研究センター	
	(株)オンガエンジニアリング	C-26
か	金山化成(株)	B-27
	(株)クボタ	N-06
	※クボタアグリサービス(株)	
	高圧ガス工業(株)	C-20
	(株)国際農業社	Q-24
	小林クリエイト(株)	G-26
	※トヨタ紡織(株)	
さ	(株)サカタのタネ	G-09
	佐藤産業(株)	E-06
	(株)産機	F-29
	三基計装(株)	C-21
	サンクールシステム(株)	B-23
	三相電機(株)	Q-12
	(株)サンボリ	C-23
	Signify	G-29
	※シグニファイジャパン(合)	
	ジャパンドームハウス(株)	G-27
	(有)ジャパンマグネット	B-26
	(株)信州サラダガーデン	L-24
	信州大学 先進植物工場研究教育センター	L-30
	※(株)オーク製作所	
	※日栄インテック(株)	
	※(株)クラレ	
	(株)新農林社	Q-13
	青果物選果予冷施設協議会	L-25
	(株)誠文堂新光社	D-04
	(株)誠和	E-20
	※(株)デルフィージャパン	
	(株)セムコーポレーション	C-29
	(株)セリエ	E-10
	全国農業協同組合連合会 (JA全農)	E-07
	全国野菜園芸技術研究会	R-13
た	ダイキン工業(株)	Q-09
	(株)大仙	J-20
	ダイヤテックス(株)	N-04
	高田種苗(株)	C-09
	※Riji Zwaan Export B.V.	
	(株)タカミヤ	N-16
	タキゲン製造(株)	J-15
	龍城工業(株)	B-24

	(国)千葉大学	J-30
	※特定非営利活動法人 植物工場研究会	
	中国電線工業(株)	L-10
	(株)デンソーアグリテックソリューションズ	N-13
	※(株)デンソー	
	※Certhon Build B.V.	
	(株)東海化成	B-12
	(株)東海テクノ	B-07
	東海物産(株)	C-07
	東京インキ(株)	Q-10
	東都興業(株)	N-03
	東洋紡(株)	E-27
	※グローアンドグロー(株) ベジグー小浜植物工場	
	徳寿工業(株)	Q-19
	トミタテクノロジー(株)	N-20
	※PRIVA社	
	※Richel社	
	(有)豊川温室	D-27
	トヨタネ(株)	J-12
な	中日本カプセル(株)	B-09
	日建リース工業(株)	J-24
	日本クリントン(株)	E-01
	(一社)日本施設園芸協会	K-01
	日本農民新聞社 園芸情報センター	R-12
	日本養液栽培研究会	Q-22
	ネボン(株)	E-23
	農業共済新聞(全国農業共済協会)	D-13
	農研機構 農業機械研究部門	A-25
	農研機構 野菜花き研究部門	R-18
	(一社)農山漁村文化協会	A-02
	農林水産省	B-13
	(株)ノーユー社	N-10
	※NUFiltration	
	※TAVLIT	
	※A.R.I	
	※Grofit	
は	(株)ハイボネックスジャパン	A-08
	パナソニックライティングデバイス(株)	Q-15
	ハンナ インスツルメンツ・ジャパン(株)	A-23
	(株)farmo	B-21
	福井シード(株)	C-12
	フルタ電機(株)	E-03
	※フルタ・エンネツ(株)	
	※フルタ熱機(株)	
	(株)フローラ	F-10
	(有)ベストクロップ	D-10
	(株)ホーグス	C-06
	北越工業(株)	N-09
ま	(株)丸文製作所	B-29
	三菱ケミカルアグリドリーム(株)	N-18
	※三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)	
	みのる産業(株)	B-03
	明治大学 植物工場基盤技術研究センター	P-30
	(株)最上川環境技術研究所	N-12
や	ヤンマーグリーンシステム(株)	J-18
	※ヤンマーアグリジャパン(株)	
	※ヤンマーエネルギーシステム(株)	
	※ヤンマーホールディングス(株)	
	ユビキタス環境制御システム研究会	N-25
	※農研機構	
	※近畿大学	
	※岡山大学	
ら	(株)ロボテック	F-01
わ	渡辺パイプ(株)	J-03

4 会場MAP

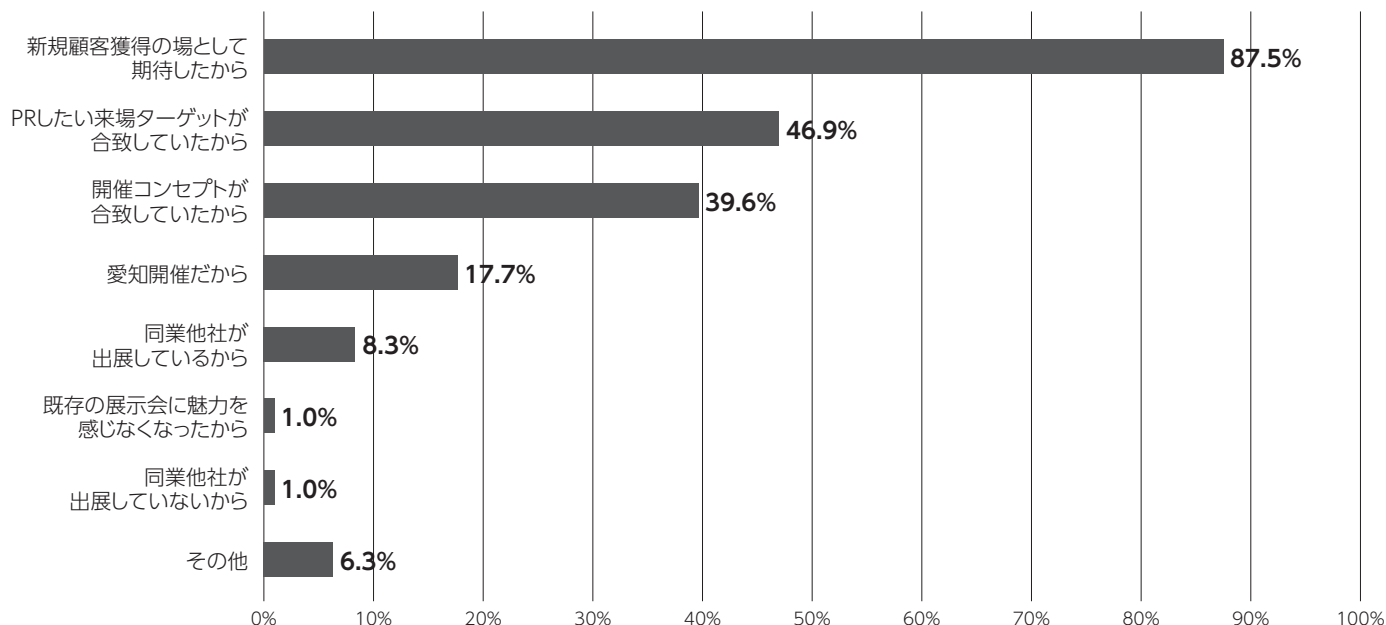




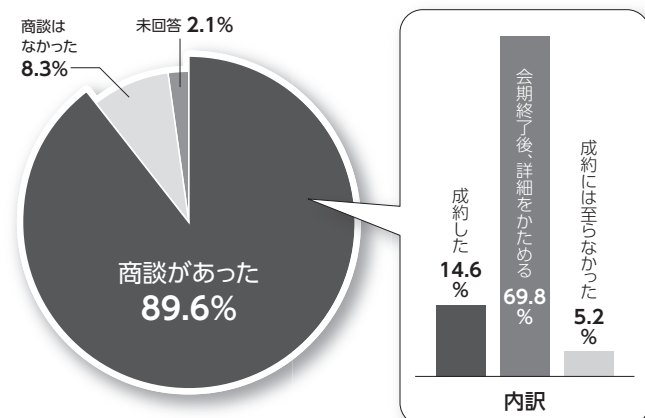
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

5 出展者アンケート

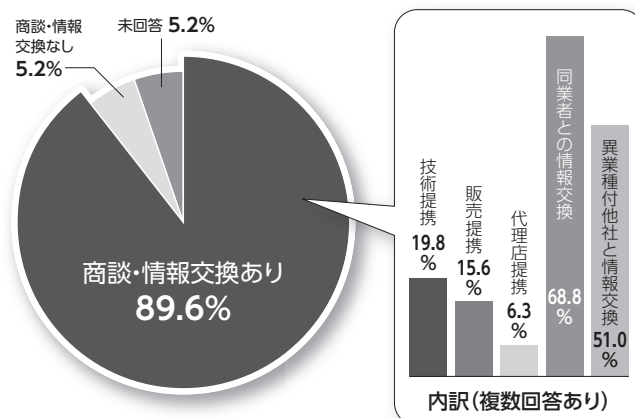
Q1 今回ご出展の理由は？（複数回答あり）



Q2 会期中における来場者との商談は？



Q3 他の出展者との商談・情報交換は？



POINT 約9割の出展者が「商談があった」と回答！
コロナ禍でも質の高い来場者が足を運び、活発な交流が行われました。

出展者の感想

良かった点



- ★生産者の来場が多く、エンドユーザーの声を直接聞くことができた。
- ★コロナ禍でも想定以上の集客があり、効率のよい営業活動ができた。
- ★アピールしたいターゲット層の来場があり、有益な商談ができた。
- ★入場者管理や会場設計など感染症対策がしっかりと行われていた。
- ★全体の来場数は減ったが、質の高い来場者が多く、ブースへの訪問者数も多かった。
- ★農閑期の7月開催は、良いタイミング。
- ★同業他社との意見交換の場としても役立った。
- ★幅広く業界関係者が集まり、有益な交流ができた。
- ★篤農家の来場が多く、施設園芸としては最大規模の展示会である。
- ★初の地方開催としてターゲットの多い愛知県を選んだこと。
- ★全国の生産者へ新製品を紹介できる展示会である。
- ★事務局が臨機応変に対応してくれた。

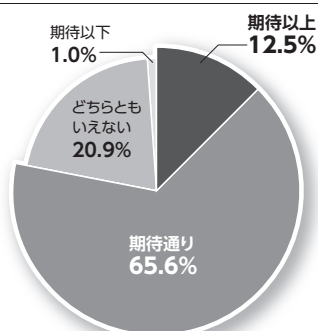
改善すべき点



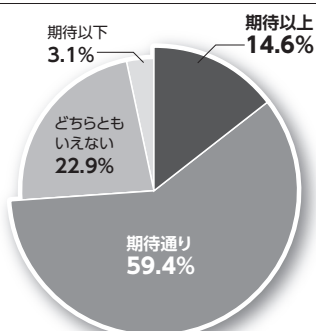
- 地元各JAへツアーを企画するなど団体来場を増やしてほしい。
- より多くの生産者に来てほしい。
- QRコードシステムをより有効活用できるように改良してほしい。
- 農材店・販売店の来場を増やしてほしい。
- 新たな企画など、毎回変化があると良い。

Q4 今回の出展に対する評価は？

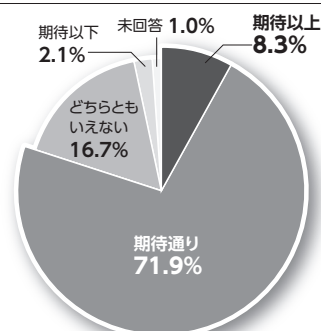
有益な商談の場として



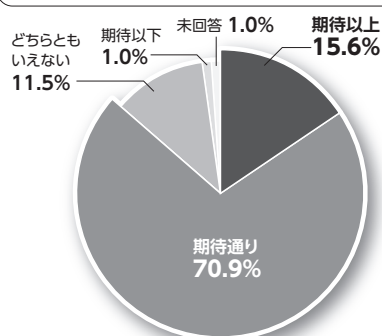
新規顧客獲得の場として



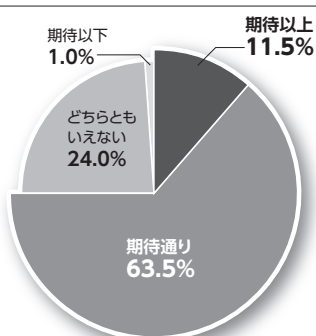
既存客へのアピールの場として



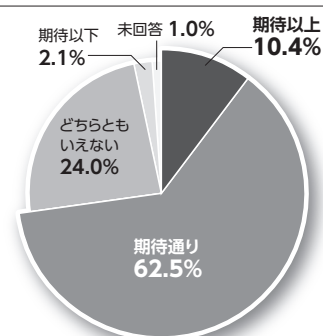
販促・PRの場として



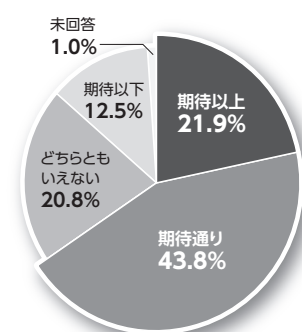
製品・技術に対する
意見収集・情報交換の場として



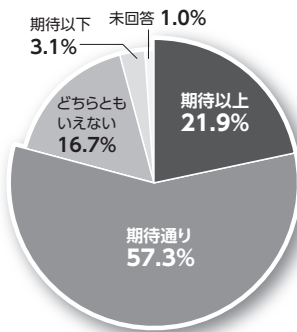
貴社ターゲット層と
来場者層の合致について



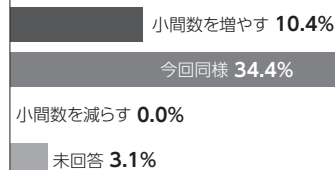
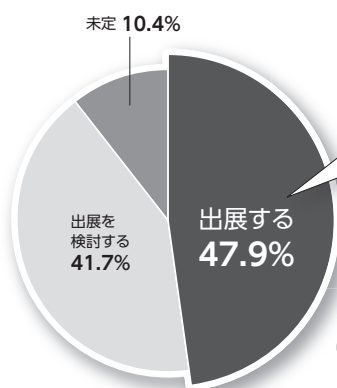
貴社ご出展ブースへ
ご来場者数について



貴社ブースでの来場者の反応は



Q5 次回の出展参加について



内訳

POINT

次回の開催に向けて、約9割の企業から出展に前向きな回答があり、リアル展示会への期待の高さがうかがえる。

6 来場者分析

登録者数は6,971名、来場者数は16,288名と、前回（東京）と比べると大きく減少となった。コロナ禍での開催となった今回、首都圏では緊急事態宣言の発令下であったこともあり、関東地域や遠方からの来場が大幅に減った一方、地元愛知を含む東海地方からの来場が多かったことが地域別比率からわかる。業種別を見ると農業生産者

等の割合が46.5%と微増し、農業団体を含めると半数以上に達する。1年の延期を経て3年ぶりの開催だったこともあり、課題解決や情報収集など、目的を持って訪れる来場者が目立ち、活発な交流が行われた。

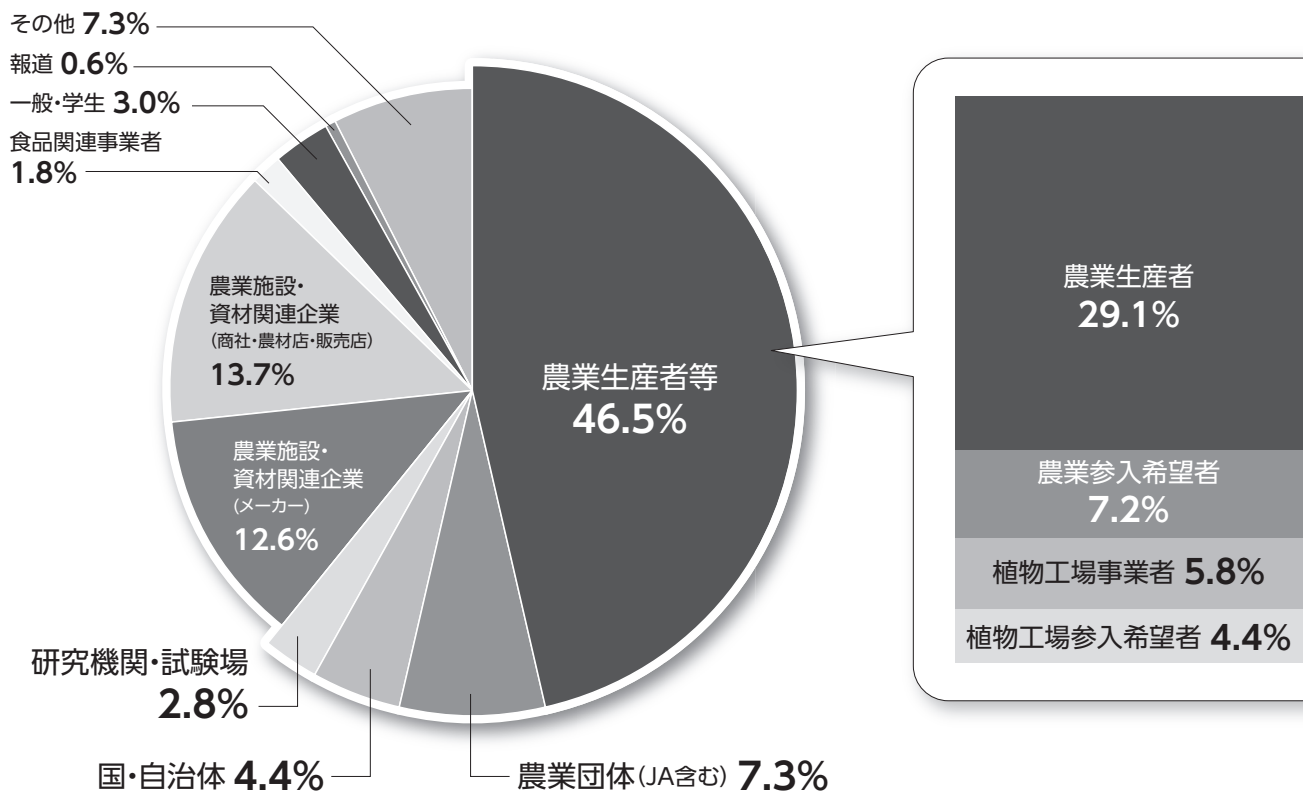
来場者数

日付	天気	登録者数	来場者数
7月14日(水)	くもり時々晴れ	2,087	5,146
7月15日(木)	晴れのちくもり	2,621	5,918
7月16日(金)	晴れ	2,263	5,224
合 計		6,971	16,288

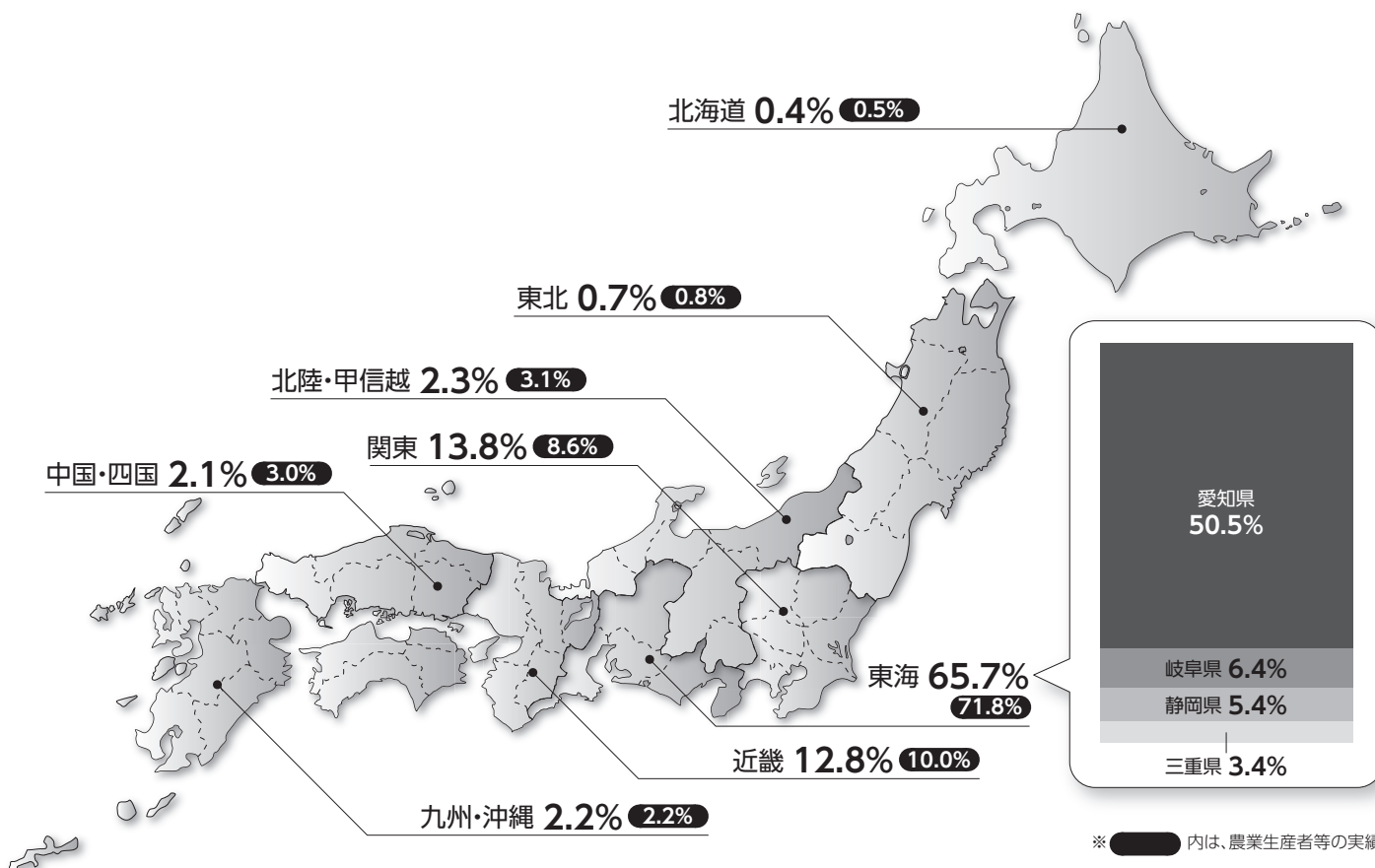
*登録者数：氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。
*来場者数：来場した延べ人数（再入場を含む）



業種別比率

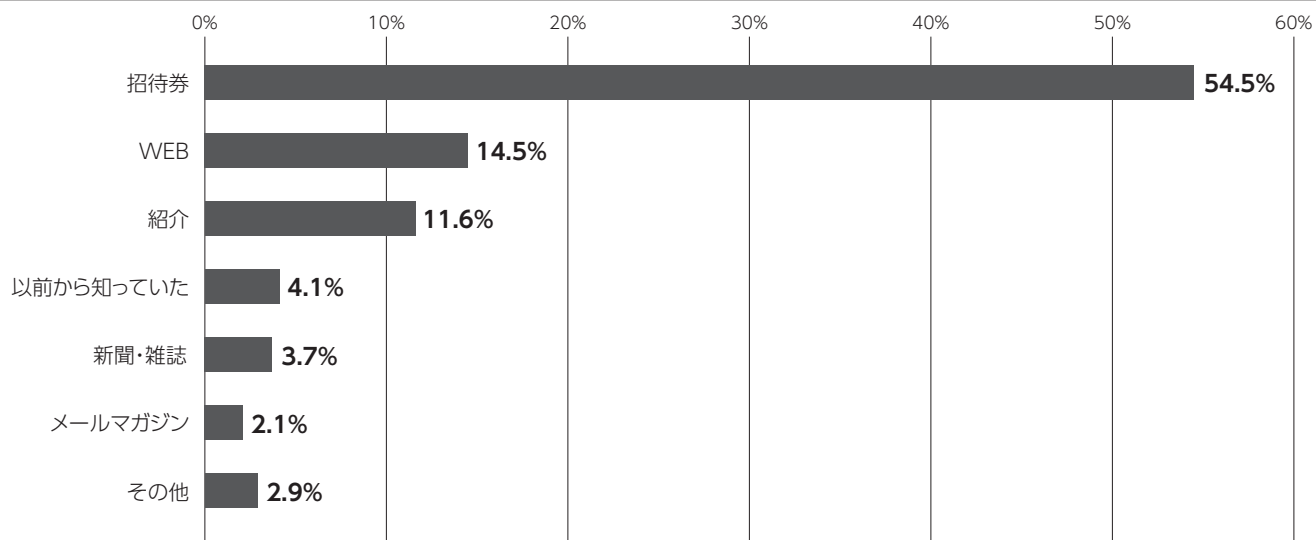


地域別比率

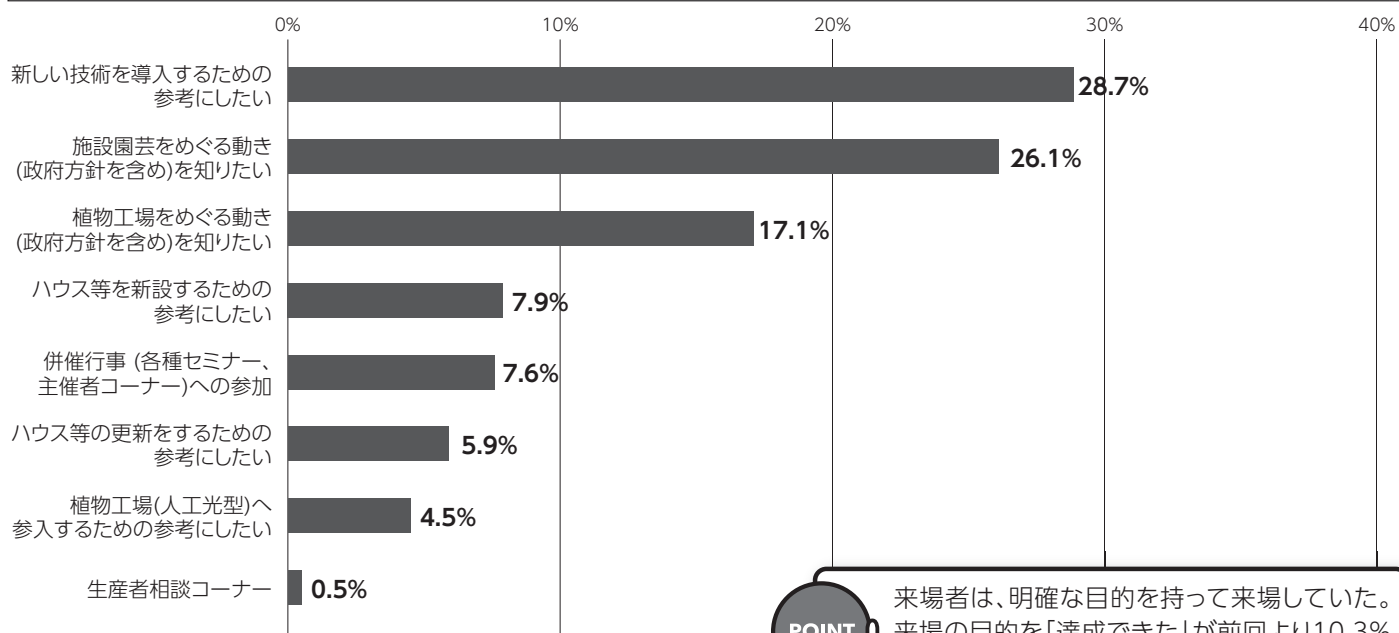


7 来場者アンケート

Q1 本展を何を通じて知りましたか？(複数回答あり)



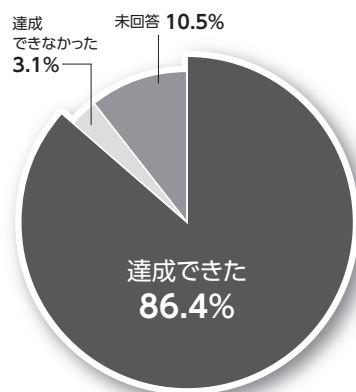
Q2 本展に来場された目的は？(複数回答あり)



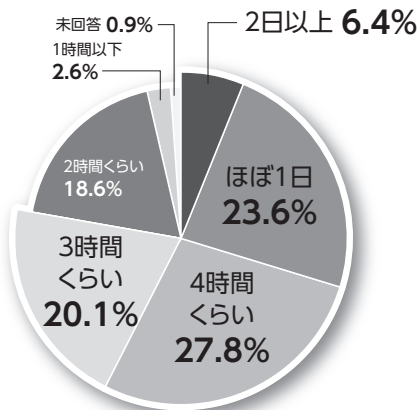
POINT

来場者は、明確な目的を持って来場していた。来場の目的を「達成できた」が前回より10.3%上昇。ブース展示や出展者との交流、セミナーなどを通じて課題解決や情報収集といった、それぞれの成果を持ち帰っている。

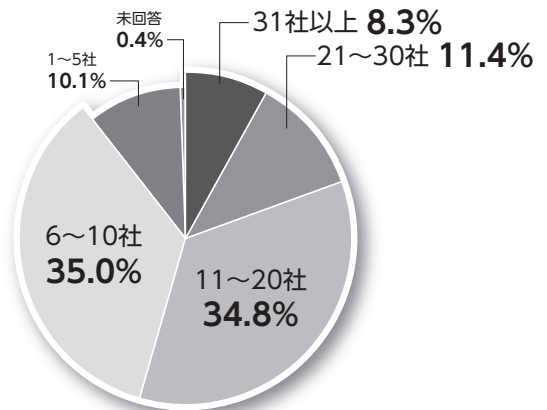
Q3 ご来場の目的は達成されましたか？



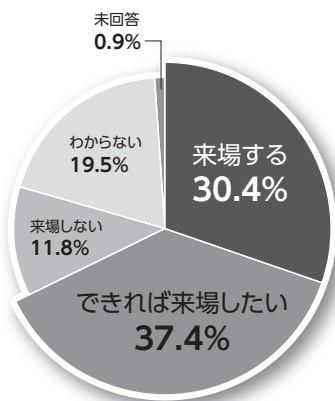
Q4 会場での滞在時間は？



Q5 会場での訪問社数は？



Q6 次回の来場予定は？



POINT

来場者は、それぞれの滞在時間の中で多くの展示ブースを訪問して、商談・情報収集・製品の比較検討を行っていた。来場者の多くが次回来場を予定しており、来年の東京開催への期待が高まる。



来場者のコメント

良かったところ

- ★実物（機械・資材）の展示が多く、各製品への理解が深まった。【農業生産者】
- ★地元のアノ知県開催だったので来場しやすかった。今後も可能ならアノ知で開催を希望。【農業生産者】
- ★新しい機械が多く、見ごたえがあった。【農業生産者】
- ★セミナーテーマが興味のあるものばかりで、充実していた。【農業生産者】
- ★各ブースで製品に関する詳細な説明をしてもらえた。【農業生産者】
- ★新しい技術等の発見ができた。【農業生産者】
- ★ハウス新設を検討しており、各ブースの展示が非常に参考になった。【農業生産者】
- ★環境制御機器など、スマート農業関係の製品を比較検討できた。【農業生産者】
- ★DX導入に向けて、各企業の担当者と繋がることができた。【農業生産者】
- ★コロナ対策がしっかりされていたので、安心して参加することができた。【植物工場事業者】
- ★新規参入を考えており、業者の方との繋がりをつくれて良かった。【農業参入希望者】

次回への要望

- もっといろいろな資材設備をみたい。【農業生産者】
- チャラ設備の展示が見たかった。【農業生産者】
- 今後もアノ知県で開催してほしい。【農業生産者】
- 個人経営向けの展示を増やしてほしい。【農業生産者】
- 労務管理についての展示やセミナーがあると良い。【農業生産者】

- ★多くの企業担当者と交流し、最新トレンドの話が聞けた。【農業参入希望者】
- ★担当者に直接話を聞くことができた。リモートやビデオで話を聞くのとはやはり違う。【植物工場参入希望者】
- ★今まで見たことがない新しい展示が多かったので参考になった。【農業団体（JA含む）】
- ★分野ごとにブース位置が分かれており、比較しやすかった。【農業団体（JA含む）】
- ★様々な事業、技術に触れることができ、担当者に話を聞くことができた。【国・自治体】
- ★多くの企業が出展されており、全体的な動きや他企業がどのような分野に興味があるなどを幅広く知れた。【農業施設・資材関連企業（メーカー）】
- ★最新の技術を知ることができた。【農業施設・資材関連企業（商社・農材店・販売店）】
- ★色々な分野の商品があり販売意欲がわいた。【農業施設・資材関連企業（商社・農材店・販売店）】
- ★出展企業の方々と前向きな話ができた。【農業施設・資材関連企業（商社・農材店・販売店）】

- 出展者のプレゼンテーションをもっと聞きたい。【農業参入希望者】
- より多くの企業に出展してほしい。【植物工場事業者】
- 同じような製品でも他社との違いなどを明確に示してもらえると比較検討しやすい。【農業施設・資材関連企業（商社・農材店・販売店）】
- 毎年開催してほしい。【一般・学生・その他】

8 イベント

GPEC開会式

日 時 2021年7月14日(水) 9:30~10:00 会 場 ホールC前

1. 開会の辞

2. 来賓紹介

農林水産省 農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室長 尾室 義典 様
経済産業省 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課 課長 荒木 太郎 様
[代理] 中部経済産業局 地域経済部長 一ノ瀬 宏明 様
愛知県知事 大村 秀章 様
[代理] 副知事 加藤 慎也 様
(一社)全国農業協同組合中央会 農政部 畜産・青果対策課 課長 小林 康幸 様
全国農業協同組合連合会 常務理事 久保 省三 様
農林中央金庫 東海営業統括部長 山田 英司 様
(公社)全国農業共済協会 常務理事 徳井 和久 様
(株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部 特別参与 能登 謙一 様

3. 主催紹介

(一社)日本施設園芸協会 会長 鈴木 秀典
// 名誉会長 木田 滋樹
// 理事 篠原 温
GPEC実行委員長
公益財団法人 園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達

4. 主催者挨拶

(一社)日本施設園芸協会 会長 鈴木 秀典

5. 来賓挨拶

農林水産省 農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室長 尾室 義典 様
経済産業省 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課 課長 荒木 太郎 様
愛知県 知事 大村 秀章 様
[代理] 副知事 加藤 慎也 様

6. テープカット



主催者コーナー

● 日本型大型(1ha)モデルハウス展示

大型モデルハウスを2棟設置し、最新の栽培環境を再現した。未来の日本農業を体感できる展示に、多くの来場者から関心が寄せられた。



展示協力

AGCグリーンテック(株)	(株)山本産業
トヨタネ(株)	(株)イーエス・ウォーターネット
タキロンシーアイ(株)	(株)大仙
(株)誠和。	ネボン(株)
(株)丸昇農材	福井シード(株)
東都興業(株)	イノチオアグリ(株)
日本ロックウール(株)	フルタ電機(株)
三菱ケミカルアグリドリーム(株)	※順不同

●政府・公庫・融資コーナー

政府、公的機関による業界動向や生産者・参入希望者に向けた支援情報を発信した。

展示協力 農林水産省、経済産業省、農林中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(公社)全国農業共済協会

●生産者相談コーナー

栽培や経営に関する生産者の悩み・課題について、各分野の専門家が提案を行った。

テーマ・相談員

【補助金】 農林水産省 園芸作物課 担当官

【栽培技術】 吉岡技術士事務所 代表 吉岡 宏 氏

高崎健康福祉大学 農学部 教授 荒木 陽一 氏

(一社)日本施設園芸協会 理事兼参事 高市 益行 氏

【養液栽培・植物工場】 日本養液栽培研究会

【公庫・融資】 (株)日本政策金融公庫、農林中央金庫



相談内容と回答(一部抜粋)

Q: 身体障害のある場合、農業機械の導入等に際して補助金等はないか。【農業生産者】

A: 「産地生産基盤パワーアップ事業」を紹介。当該補助金は1/2補助だが、公庫の融資と組み合わせ使用する場合もある。

Q: 北海道で、モモのハウス栽培を導入したい。研修に係わる補助や新植、ハウス導入への補助はあるか。【農業参入希望者】

A: 「農の雇用事業」と「産地生産基盤パワーアップ事業」を紹介。まずは、事業を活用せずに少ない面積で導入して、軌道にのるか確認してから事業活用をしてはどうか。

Q: 中古ハウスを購入したいが、何か補助金はないか。【農業生産者】

A: 後継者不在ハウスの継承にあたる取組であることを確認し、「産地生産基盤パワーアップ事業」を紹介。

Q: 独立して施設園芸に取り組みたい。イニシャルコストと農地斡旋や補助があるか知りたい。【農業生産者】

A: 農地については、市町村に相談を。補助金については、新規就農者向けの「次世代人材投資事業」と「産地生産基盤パワーアップ事業」を紹介。

Q: 夏秋イチゴの栽培について【農業生産者】

A: 課題となる高温対策等について説明。

Q: 植物工場でのコーヒーや野菜の栽培の可能性について【植物工場参入希望者】

A: 予想以上に栽培コストが高いと思われる。コスト試算と販売戦略が必要。

Q: 植物工場でのレタス栽培の課題を相談【植物工場事業者】

A: 生育不良の原因として考えられるカリウム欠乏、pH調整、温度調整、栽培ベッドの洗浄についてアドバイス。

Q: イチゴ栽培についての課題を相談【農業生産者】

A: 持参した培養液の分析値が、標準値から大きく乖離しているため修正が必要と回答。

Q: イチゴ栽培において、水耕栽培と固形培地耕のどちらがよい。

A: イチゴの場合、固形培地耕の方が容易であると回答。

Q: 植物工場の運営とはどのようなものか知りたい【植物工場参入希望者】

A: 新規参入、植物工場の仕組み、栽培作物などについて紹介

Q: CO₂施用機器を導入したい。【農業生産者】

A: 養液やCO₂の管理について具体的な数値を元にアドバイス。栽培品種の提案。

⑧ イベント

GPEC主催者セミナー

7月14日(水)	[GP-01]	10:30～11:15	
	大規模施設園芸・植物工場の実態調査結果について		(株)三菱総合研究所 スマート・リジョン本部 主任研究員 水野 友美 氏
	[GP-02]	11:30～12:40	
	「食卓に笑顔と健康をお届けします」 ～トマト、ミニトマトを中心とした顧客目線の地域密着経営～ 施設野菜を中心として、都市農業の確立を目指す ～トマト(大玉・中玉房採り・ミニ)・キュウリ・ナスの促成長期栽培の取り組み～		(株)にいみ農園 代表取締役 新美 康弘 氏 山本温室園 代表 山本 泰隆 氏
	[GP-03]	13:00～13:35	
7月15日(木)	IoP[Internet of Plants]が導く「Next次世代型農業」への進化		高知県 農業振興部 IoP推進監 岡林 俊宏 氏
	[GP-04]	14:00～16:30	
	次世代シンポジウム / 次世代施設園芸セッション 次世代拠点の発展～生育・収量予測の可能性～ 収量予測にもとづく生産管理の重要性 大規模施設園芸における組織づくりと人的資源管理 NARO®生育・収量予測ツールの活用ー果菜類の収量予測ー		農研機構 野菜花き研究部門 研究推進部長 東出 忠桐 氏 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 大山 克己 氏 農研機構 農業経営戦略部 上級研究員 田口 光弘 氏 農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 施設野菜花き生育制御グループ グループ長 安 東赫 氏
	[GP-05]	10:30～11:15	
	カーボン ゼロ 世界における 施設園芸／植物工場		(公財)園芸植物育種研究所 理事長・所長 丸尾 達 氏
7月16日(金)	[GP-06]	11:30～12:40	
	Dトレイによるイチゴの高密度省力栽培技術 イチゴの栽培から輸出までを統合したスマート農業技術を活用した輸出対応型省力一貫作業出荷体系の構築		三倉農園園主 三倉 直己 氏 農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ グループ長補佐 曾根 一純 氏
	[GP-07]	13:00～13:45	
	大規模施設園芸の生産性を飛躍的に向上させるスマート技術体系の実装		大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 大山 克己 氏
	[GP-08]	14:00～14:35	
7月16日(金)	デルフィージャパンによるイチゴの栽培コンサルティング		(株)デルフィージャパン コンサルタント 加納 賢三 氏
	[GP-09]	14:50～16:00	
	施設園芸の輪ギクにおける環境制御とその評価 国内産地におけるカーネーション環境制御栽培技術の実証		JA愛知みなみ輪菊部会 越川 智尋 氏 静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部 教授 稲葉 善太郎 氏
	[GP-10]	16:10～16:45	
	お客様の要望に応える大葉の生産、販売		JA愛知みなみ 泉つまもの出荷組合 河合 吉久 氏
7月16日(金)	[GP-11]	10:30～11:15	
	実装型高精度植物生体情報計測による施設生産の高度化		豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授／愛媛大学大学院農学研究科 教授 高山 弘太郎 氏
	[GP-12]	11:30～12:40	
	JA西三河きゅうり部会のスマート農業への取組 キュウリの次世代品種と環境制御		JA西三河きゅうり部会 改革プロジェクト サブリーダー 下村 堅二 氏 (株)サカタのタネ 掛川総合研究センター 栽培課 川瀬 勝 氏
	[GP-13]	13:00～13:35	
7月16日(金)	小売り¥98の韓国産パプリカ。国産は対抗できるのか？		(株)Tedy 代表取締役 林 俊秀 氏
	[GP-14]	13:50～14:25	
	ゆめファーム全農の取り組みについて		全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 営農企画課 高度施設園芸推進室 室長 吉田 征司 氏
	[GP-15]	14:40～15:15	
	苗生産自動化(ロボット活用)の取組		(株)ハルディン 常務取締役 篠原 雄一 氏
7月16日(金)	[GP-16]	15:30～16:15	
	「ハウス暖房の効率化と脱炭素化案」 ～ヒートポンプと太陽熱の蓄熱利用システムの組み合わせ～		千葉大学 環境健康フィールド科学センター 特命研究員 関山 哲雄 氏

スマートアグリ ジャパン主催者セミナー

7月14日(水)

14:00 ~ 14:45	[SA-01]	AI・ロボティクス自動化技術を活用したスマート農業
東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 深尾 隆則 氏		

7月15日(木)

11:30 ~ 12:15	[SA-02]	樹脂製テープを用いたトマト用接ぎ木装置の開発
農研機構 農業機械研究部門 知能化農機研究領域 施設園芸生産システムグループ 主任研究員 中山 夏希 氏		

7月16日(金)

11:30 ~ 12:15	[SA-03]	施設園芸における栽培労務管理効率化のための基盤技術の開発 ー栽培労務管理 OPF およびトマト収量予測システムの紹介
農研機構 農業機械研究部門 知能化農機研究領域 施設園芸生産システムグループ グループ長 深津 時広 氏 農研機構 農業機械研究部門 農業ロボティクス研究センター 施設ロボティクスユニット 研究員 内藤 裕貴 氏		

出展者プレゼンテーション

7月14日(水)

11:15 ~ 11:45	[EP-01]	トマト栽培における LED 補光の効果 ー日本国内での実証と実績ー
Signify		
12:45 ~ 13:15	[EP-02]	施設園芸をトータルサポート!オリジナル開発商品のご紹介
トヨタネ(株)		
13:30 ~ 14:00	[EP-03]	採光性の高い新型ハウス「G-Castle NEO48」のご紹介
(株)タカミヤ		
14:15 ~ 14:45	[EP-04]	最適な空気循環を実現できる、高効率・省エネ性・制御性に優れた EC ファンのご紹介
ebm-papst Japan(株)		
15:00 ~ 15:30	[EP-05]	稼げる農業は、労務が大事 ー篤農家がやっているマネジメントの秘密ー
イノチオグループ		

7月15日(木)

11:15 ~ 11:45	[EP-06]	高品質作物を提供するNUF灌水システムについて
(株)ノーユー社		
13:30 ~ 14:00	[EP-07]	画期的な細霧冷房により真夏の栽培が出来る経済的冷房温室「クールサットハウス」
徳寿工業(株)		
14:15 ~ 14:45	[EP-08]	新世代型低コスト耐候性ハウス ドリームフィールドの紹介
イノチオグループ		

7月16日(金)

13:30 ~ 14:00	[EP-10]	農業分野で使える IoT 技術のご紹介
(株)アイエスエイ		
14:15 ~ 14:45	[EP-09]	データを活用した PDCA 運営管理で、時間当たり生産力を向上させる実践
イノチオグループ		

8 イベント

最新ハウス見学ツアー

GPEC参加者限定で、愛知県内の最新の栽培施設を見学できるバスツアーを実施。2日間で130名以上が参加し、充実の見学内容となった。

実施日 2021年7月15日(木)、16日(金)

実施時間 13:00~18:30

参加方法 事前申込制、参加費事前支払い(3,000円)

視察先 イノチオファーム豊橋/山元園芸(Profarm T-cube)

協力 イノチオグループ、(株)大仙、トヨタネ(株)

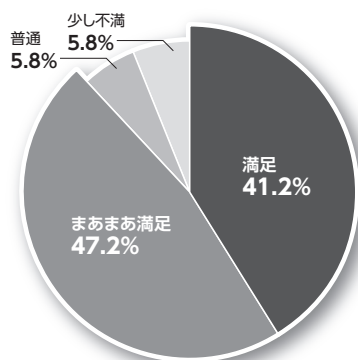


本ツアーに参加した 目的は?

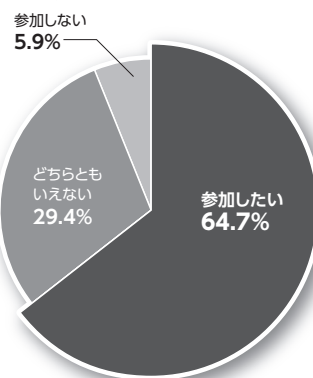
- ★どのようなIoTが使われているか
肌で感じたかった。
- ★先端的施設での栽培に興味があったから
- ★新規就農・農業参入に向けた情報収集

- ★施設園芸について知るため(知識ゼロベース)
- ★最新のハウス農業とはどんなものかを実際に
見てみたかったため
- ★最新施設の仕様、栽培方法の考え方を知るため

本ツアーの満足度を 教えてください



次回のGPECで同様のツアーがあったら 参加したいですか?



ツアー参加者の声

- ★一般農家だとなかなか見学出来ない場所へ行けたのでよかった。
- ★労働環境整備等の重要性を再認識できた。
- ★利益を獲得しながらいかに効率良く野菜を生産するかが工程からよく感じられた。
- ★栽培施設を2ヵ所見学でき、見学時間も十分あったので多くの学びがあった。
- ★設備仕様の詳しい資料が欲しかった。
- ★実際の収穫物を試食してみたかった。

9 来場誘致・広報活動

主催者および事務局は、両展示会の知名度向上、来場者増員のため、様々な広報活動を行った。

●業界紙誌

生産者に広く講読されている業界紙誌を中心に、来場誘致広告を掲載。また、業界関連媒体各社に、GPEC Newsやプレスリリースの送付。さらに会期 1 か月前に記者発表会を実施し、展示会の概要やみどころなどの情報提供を行うことで、各種媒体の記事として掲載された。

広告・記事掲載 日本農業新聞、農業共済新聞、農機新聞、農村ニュース、全野研ニュース、施設と園芸、現代農業、農耕と園芸、園芸新聞、農経新報、農業資材通信、フリーペーパー道の駅東海版（順不同・一部抜粋）

●WEB

GPEC、スマートアグリ ジャパンの両公式サイトでは、出展者情報をはじめ、セミナーや主催者コーナー、イベントなどの情報を発信。感染症対策として WEB からの事前来場登録を促し、同時にセミナー聴講登録も受け付けることで、閲覧者の来場促進へつなげた。また、農業関連の情報を扱う WEB 媒体にも開催告知記事やバナー広告を掲載し、幅広い層に向けた情報発信に加え、東海地域にターゲットを絞ったリスティング広告を掲載することで地元生産者の来場誘致にも注力した。

●メールマガジン

過去来場者、事前来場登録者などを中心にメールマガジンを定期的に配信した。出展者の情報に加え、セミナーや主催者コーナー、ツアーなどの併催行事の情報発信も行い当日の来場につながった。また、県の関連団体や、業界関連媒体が配信するメールマガジンにも展示会情報を掲載し、来場層の拡大につなげた。

●招待券

出展者一覧やセミナースケジュール、併催行事など、展示会の魅力を余すことなく掲載した招待券を作成。出展者やセミナー講師、講演、協賛団体、関係者を通じて、来場対象となる全国の生産者や農業団体、農政担当者などに配布し、来場を促した。





施設園芸・植物工場展

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

次 - 回 - 開 - 催

2022年7月20日(水)→22日(金)
東京ビッグサイト 南3・4ホール

お問合せ先

施設園芸・植物工場展(GPEC)事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4F
TEL : 03-3503-7703 FAX : 03-3503-7620 MAIL : ofc@gpec.jp

www.gpec.jp